

## 令和7年度第1回公契約審議会 議事概要

### 開催概要

日 時:令和7年8月4日(月) 午前10時から

場 所:台東区役所 10階 1003会議室

出席者:【委員】 学識経験者 ①(早稲田大学法学学術院准教授) ※会長  
学識経験者 ②(東京都社会保険労務士会) ※職務代理者  
労働者団体代表③(全建総連東京都連台東地区協議会東京土建一般労働組合台東支部)  
労働者団体代表④(連合東京東部ブロック地域協議会台東地区協議会)  
事業者団体代表⑤(台東建設防災協力会)  
事業者団体代表⑥(台東土木防災協力会)  
【事務局】総務部長、経理課長、経理課職員3名

会議の公開:公開(傍聴可)

傍聴者:5名

次第: 1 開会

2 台東区長から東京都台東区公契約審議会への諮問について

3 議題

- ・公契約審議会年間スケジュールについて
- ・台東区における主な取り組みについて
- ・台東区を取り巻く地域経済事情について
- ・公契約条例の運用状況、課題について
- ・工事又は製造の請負契約の労働報酬下限額について
- ・委託の労働報酬下限額について

4 閉会

### 議事内容

#### 1. 開会・挨拶

総務部長より挨拶があり、昨年度の審議会の成果と公契約条例の重要性について言及された。特に、全国的な賃金上昇の動きや東京都の最低賃金が昨年50円引き上げられ1163円になったこと、建設業界では公共工事設計労務単価が全職種平均で6%引き上げられたことに触れ、今後、更なる引き上げも予想されると述べた。公契約における適正な労働条件の確保は、地域における雇用促進、サービス品質向上、地域内消費拡大による経済の好循環を生み出し、住民福祉の向上につながるとの認識が示された。

#### 2. 区長からの諮問

区長名での諮問書が読み上げられ、会長に手渡された。この諮問内容を踏まえ、以降の議事が進められることとなった。

### 3. 審議会スケジュール

今年度は全3回の審議会を開催予定。

- 第1回:公契約条例の取り組み・課題報告、工事の労働報酬下限額審議
- 第2回:委託の労働報酬下限額審議(予算編成との兼ね合いから仮決定)
- 第3回:正式な答申決定と次年度に向けた課題整理

### 4. 台東区における主な取り組み

昨年度の第3回審議会以降に実施した公契約条例に関する取り組みについて、事務局より報告

#### ① 特定労働者向け名刺カードの作成

- 労働報酬下限額や申出先を記載したカードを配布
- 受注者を通じて下請けを含む全特定労働者に配布
- 携帯しやすい名刺サイズで実用性を重視

#### ② 特定労働者向けホームページの作成

- 名刺カードのQRコードからアクセス可能
- 労働報酬下限額の適用や申し出に関する情報をフロー図で掲載
- メールによる申請相談も可能

#### ③ 事業者向け手引きの作成

- 公契約条例の目的や趣旨、遵守事項、事務手続きを解説
- 区ホームページからダウンロード可能
- 必要に応じて順次改定予定

#### ④ 最低制限価格・低入札価格の見直しと前払金制度の拡充

- 最低制限価格等の設定範囲を予定価格の85%~66.7%から92%~75%に引き上げ
- 事業者が大規模工事案件に参加しやすい環境を整備するため、前払金制度の支払い限度額を3億円から10億円に引き上げ
- 測量・設計・地質調査委託も前払い金制度の対象に追加

### 5. 台東区を取り巻く経済・地域事情

各委員から現状と課題について詳細な報告があった。

#### 学識経験者②

- 台東区は観光客が多く(令和6年度約4200万人)、商業は潤っているが、住民にとっては物価・家賃が高く住みにくい面がある
- 子育て世代向け施設の不足などから区外移住が増加し、少子高齢化が進行している
- 観光・飲食業の人手不足から賃金高騰が起き、他業種にも影響が及んでいる
- コロナのような災害発生時には観光産業が一気に衰退するリスクがある

#### 労働者団体代表③

- 建設労働者の生活面での課題:地価・家賃上昇、建築資材・ガソリン代高騰による可処分所得の減少
- 慢性的な人手不足と高齢化、若手入職者の伸び悩みによる技術継承の問題

- 小規模事業者が多く、価格交渉力の弱さから経営が圧迫されている
- 公契約条例の制定により建設労働者の生活に展望が見えてきている

#### 労働者団体代表④

- ハローワーク上野管内の公契約条例対象職種の求人倍率は軒並み高く(5倍以上)、人手不足が深刻
- 今年度の賃金上昇率は概ね5%前後と見込まれる
- 日銀の物価情勢展望によれば、2025年度は2%前半、2026年度は1%後半の物価上昇率が予測される
- これらを鑑みた賃上げを考慮する必要がある

#### 事業者団体代表⑤

- 建築現場数は民間・公共ともに増加しているが、業者・職人・現場監督が不足している
- 資材高騰が続き、8月からの関税の影響も懸念される
- 経営圧迫を避けるための対策が必要
- 外国人労働者の活用が建設業界全体で常態化しており、国際的な文化理解も含めた協力体制が必要

#### 事業者団体代表⑥

- 建設現場の高齢化が急速に進行し、若手の参入がない
- 現場代理人に必要な資格取得のハードルが高い
- 設計労務単価の見直しは助かっているが、実際には設計単価の120%程度で雇用せざるを得ない
- 夏の酷暑で実働時間が5~6時間程度に制限される問題がある
- 若い人材を将来に向けて育成しながら、高齢者に引っ張っていただく、そのバランスをうまく取ることが経営者として重要であり、現在もそのように試行錯誤している。

#### 学識経験者①

- 賃金高騰と人手不足の顕在化、高齢化の進行という状況認識
- 政府の「骨太の方針」では2029年度までの5年間で年1%程度の実質賃金上昇を目標としており、物価上昇を1%程度上回る賃金上昇の定着を目指している
- 政府は、官公需における価格転嫁の重要性を指摘している。
- 建設中央審議会では労務費の反映状況を可視化するシステム化が検討されている
- 公契約条例がこうした流れの中で重要な役割を果たす

## 6. 公契約条例の運用状況と課題

公契約条例の運用状況と課題について、事務局より報告

### ① 労働環境確認報告書の提出状況

- 現在の適用契約: 工事請負契約 6 件、委託業務契約 93 件、指定管理協定 11 件(計 110 件)

- 委託業務契約と指定管理協定はすべて報告書提出済み
- 工事請負契約は契約締結から1ヶ月が経過していないこともあり提出待ち
- 労働者からの申し出は現時点でなし

## ② 事業者からの意見

- 労働報酬下限額設定により、扶養控除内で働く労働者のシフト調整が容易になった
- 時給上昇によりワークライフバランスが改善した一方、シフト減少による人手不足が発生
- いわゆる「年収の壁」の問題は国の制度設計に起因するため、厚生労働省の検討状況を注視

## ③ 指名停止措置について

- 現在、条例違反で契約解除された事業者に対する指名停止規定がない
- 条例の実効性を高めるため、指名停止基準に明示する方向で法務担当と協議中
- 適正な労働環境確保という条例の趣旨を損なわないための措置

## ④ 特別区における公契約条例の動向

- 文京区は令和6年度、品川区は令和7年度より公契約条例を施行
- 賃金台帳型の公契約条例を制定している特別区は現在14区
- 特別区全体で労働者の適正な処遇確保に向けた取り組みが広がっている

## 7. 工事または製造の請負契約における労働報酬下限額の審議

### ① 熟練工の労働報酬下限額

- 事務局案:令和8年度の公共工事設計労務単価の90%(現行と同様)
- 他区の状況:13区中11区が90%、足立区は令和6年度単価の95%、世田谷区は85%
- 審議の結果、事務局案の90%で仮決定

### ② 未熟練工の労働報酬下限額

- 事務局案:令和8年度の公共工事設計労務単価軽作業員の75%(現行70%から引き上げ)
- 他区の状況:12区中11区が70%、足立区のみ73.4%(令和6年度基準)
- 労働者団体代表より、引き上げ自体は良いことだが、軽作業員の定義(軽易な散水・清掃・片付け)から見て未熟練工という区分の必要性に疑問があること、時給換算で1735円では人手不足解消に不十分との意見
- 東京春闘協議会の調査では東京での最低生計費は時給1900円が必要との結果も紹介
- 事業者団体代表より、実際の建設現場では、軽作業だけしている作業員はいないとの意見
- 事業者団体代表より、土木建設現場では軽作業員はほとんどおらず、普通作業員の熟練者・未熟練者にカテゴライズしているが、賃金等に関する様々な情報が明らかになることで、現場では賃金に差があることに対して様々な声があがっているとの意見。
- 審議の結果、事務局案の75%で仮決定し、未熟練工の実態については引き続き調査することとした

## 8. 委託の労働報酬下限額についての意見交換

- 現在の下限額は1323円(13区中12番目の水準)
- 労働者団体代表④より、職種別の労働報酬下限額設定を検討すべきとの提案
- 事務局からは、台東区では区の職員に代わって代替的に行われる業務を対象としており、職種ごとの設定は現時点で考えていないとの回答

- 学識経験者②からは、最低賃金や日銀短観のデータを見て適正な上昇率を決めるべきとの意見
- 学識経験者①からは、最低賃金審議会の動向や物価上昇、関税の影響などを注視する必要性が指摘された